



2016年10月28日

各位

会社名 株式会社 A i m i n g  
 代表者名 代表取締役社長 椎葉 忠志  
 (コード番号: 3911 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 経営管理グループ  
 ゼネラルマネージャー 渡瀬 浩行  
 (TEL. 03-5333-8424)

平成28年12月期第3四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年7月29日に公表いたしました平成28年12月期第3四半期累計期間(平成28年1月1日～平成28年9月30日)の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期第3四半期累計期間(平成28年1月1日～平成28年9月30日)の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
				百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,981	△324	△324	△424	△12.31
今回実績(B)	6,954	△436	△439	△679	△19.75
増減額(B-A)	△27	△112	△115	△255	—
増減率(%)	△0.3	△34.5	△35.4	△60.1	—
(参考)前期連結実績 (平成27年12月期第3 四半期)	9,392	2,837	2,805	1,800	55.35

2. 差異の理由

平成28年12月期第3四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異は、予想通りに新規・既存タイトルともに積極的なプロモーション活動を行ったことに加え、主として、コンテンツ資産において、一部配信タイトルの売上高が低調であったことに伴い今後の収益予想を保守的に見積もって資産性を評価した結果、評価損失を計上したため、売上高はほぼ予想通りに推移したものの、営業利益、経常利益は当初予想を下回りました。また、税効果会計においても今後の収益予想に合わせて会社分類の変更を行い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は当初の予想数値を下回るものとなりました。

以上